



「外為短期投資家動向調査」結果

<第80回調査>

2016年01月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施しておりましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2016年01月12日(火)13:00~2016年01月19日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は927件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

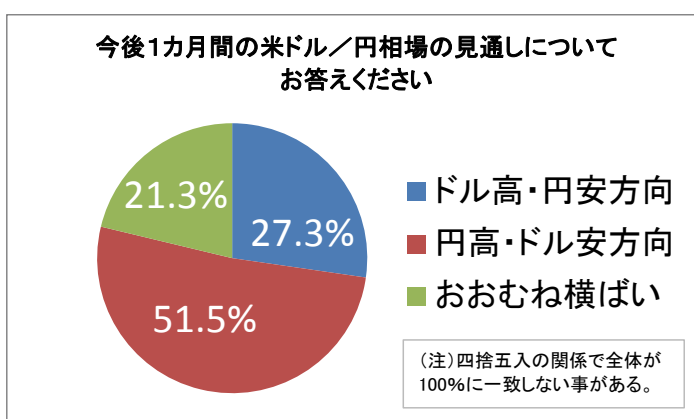
Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第80回調査結果略報：米ドル/円、31カ月ぶりに弱気転換】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

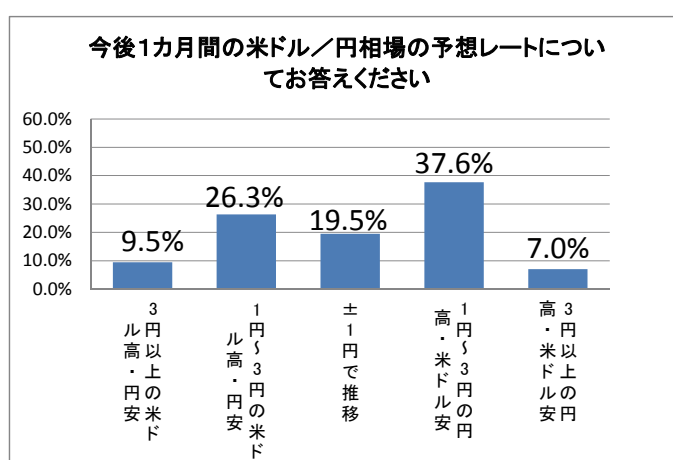
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が27.3%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は51.5%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼24.2%ポイントとなり、2013年6月調査以来、実に31カ月ぶりのドル弱気・円強気予想に傾いた。米ドル/円相場は、中国経済への懸念や原油安などを嫌気して年明けから軟調に推移し、調査期間中には昨年8月以来の安値圏である116円台に差し込む場面がたびたび見られた。また、シカゴ通貨先物市場におけるポジションがアベノミクス相場開始以来初めて円買い超に転じた事も報じられた。こうした中、FX投資家の心理は急激に弱気化したと考えられる。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の円高・米ドル安」が37.6%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安」が26.3%、「±1円で推移」が19.5%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は9.5%、「3円以上の円高・米ドル安」は7.0%であった。ヒストグラムの形状は凸凹の波打ち模様となっており、FX投資家の見通しが割れている様子が見て取れる。問1の回答で「円高・米ドル安」を予想する向きが過半数に達したが、そうした弱気派の中でも米ドル/円相場の大幅な下落を見込んでいる向きはそれほど多くないようだ。



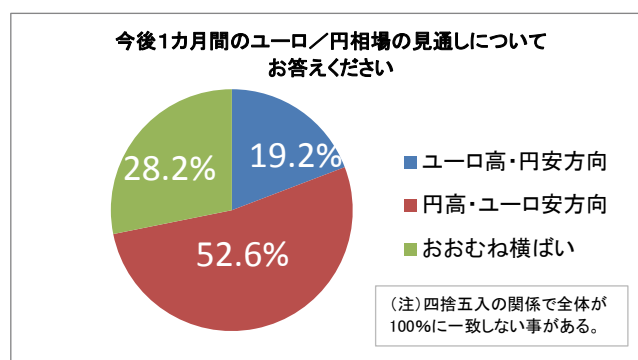
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問3: 今後1か月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が19.2%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が52.6%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼33.4%ポイントと、前回調査(▼24.4%ポイント)からマイナス幅が拡大した。なお、マイナスDIは5か月連続となった。調査期間中のユーロ/円は、中国経済への不安などから円が全面的に強含む中であっても、大きく下押す事なく127円台半ばから128円台後半の狭いレンジでもみ合った。7日に付けた126.70円台の約9か月ぶり安値を割り込まずに推移した事で、FX投資家の間で先安感が幾分後退したように見える。

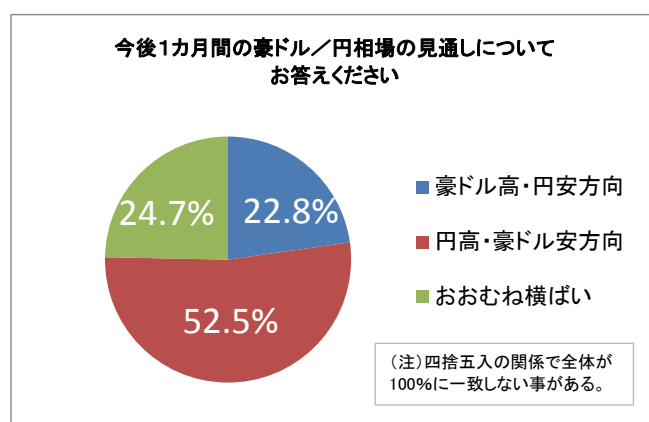
※過去のユーロ円予想DIの推移はP8-9に掲載。



問4: 今後1か月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が22.8%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は52.5%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼29.7%ポイントとなり、マイナス幅は前月の▼7.9%から拡大した。調査期間中の豪ドル/円相場は、原油をはじめとする資源価格の下落や、豪州最大の貿易相手国である中国の景気不安が重石となり、一時約3年3か月ぶりの安値となる79.50円台まで下落。年初来下落率は最大で9%を超えた。こうした大幅かつ急激な下落を目の当たりにしてFX投資家の見通しが弱化した事は想像に難くない。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。

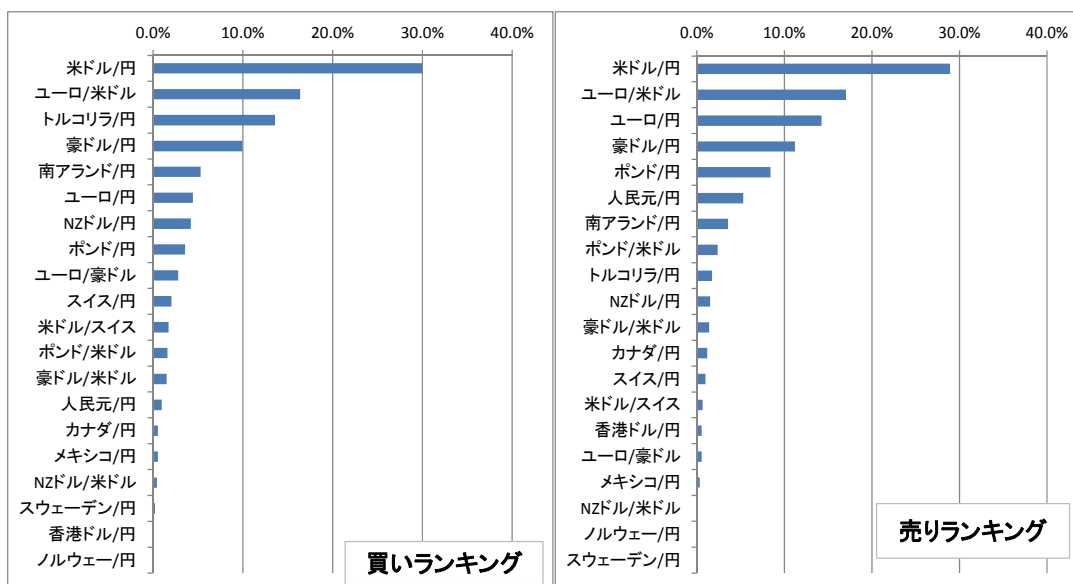


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が30.0%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位ユーロ/米ドル(16.4%)、3位トルコリラ/円(13.6%)、4位豪ドル/円(9.9%)、5位南アランド/円(5.3%)と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位米ドル/円(28.9%)、2位ユーロ/米ドル(17.0%)、3位ユーロ/円(14.2%)、4位豪ドル/円(11.2%)、5位ポンド/円(8.4%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、回答割合は2カ月連続で低下したが、米ドル/円が40カ月連続の1位となった。問1の回答で米ドル/円相場に弱気見通しが強まった点から見るとやや不整合ではあるが、2位のユーロ/米ドルや3位以下の高金利通貨のクロス円ペアが相応の「弱み」を抱えている事を考えれば、消去法的に米ドル/円に票が集まっても不思議ではないだろう。なお、米ドル/円とユーロ/米ドルは、「買い」で注目のランキングと同様に「売り」で注目の通貨ペアでも1、2位にランクインしている。また、それぞれの通貨ペアについて、「買い」で注目とした割合と「売り」で注目とした回答割合が拮抗している。米ドルと円とユーロの主要3通貨において、FX投資家の見通しが割れている証左だろう。

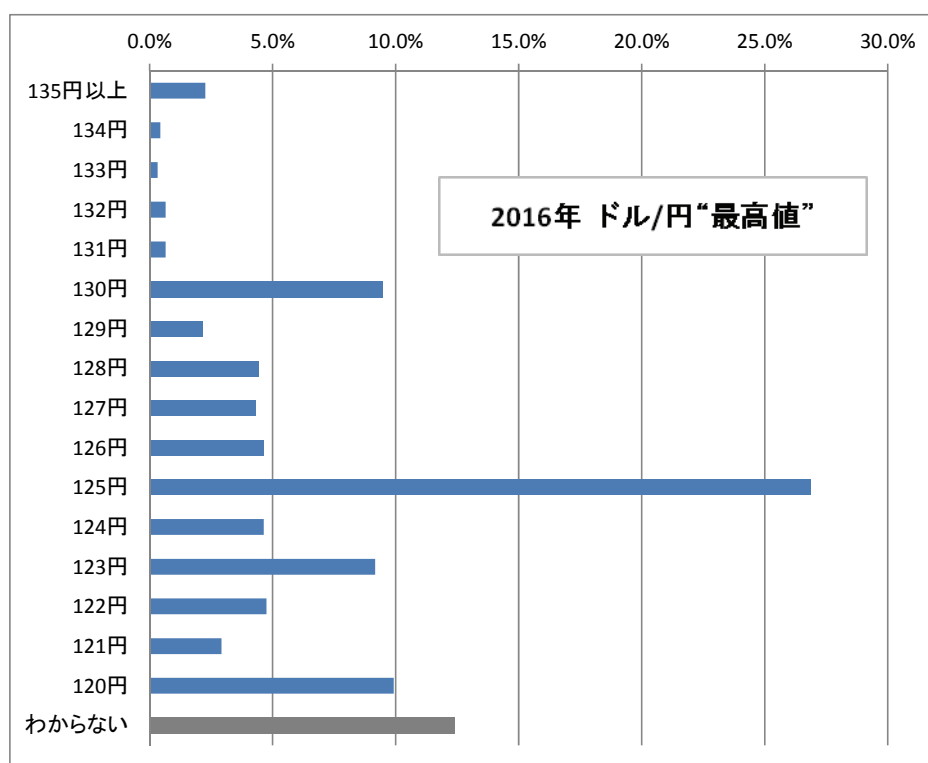


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:2016年を通して、米ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

今回の特別質問項目として、「2016年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「125円」が26.9%と最も多く、「わからない(12.4%)」を除けば、「120円(9.9%)」、「130円(9.5%)」、「123円(9.2%)」と続いた。なお、1年前の第68回調査で同じ質問をした(偶然にも米ドル/円相場の水準はほぼ同じ116~118円台)際の回答割合は、「125円(27.1%)」、「130円(16.1%)」、「124円(8.3%)」の順であった。今年はFX投資家の目線がやや低下していると言えそうだ。また、予想の理由について自由記述形式で尋ねたところ、125円以上とした向きからは「米国の景気上昇が続き、利上げが見込める」との趣旨の回答や「日銀が追加緩和に動く」との回答が目立った。一方、120円とした向きからは「テクニカル分析では上昇トレンドが終わり、下落トレンドに入ったと見られる」との声が上がっていた。

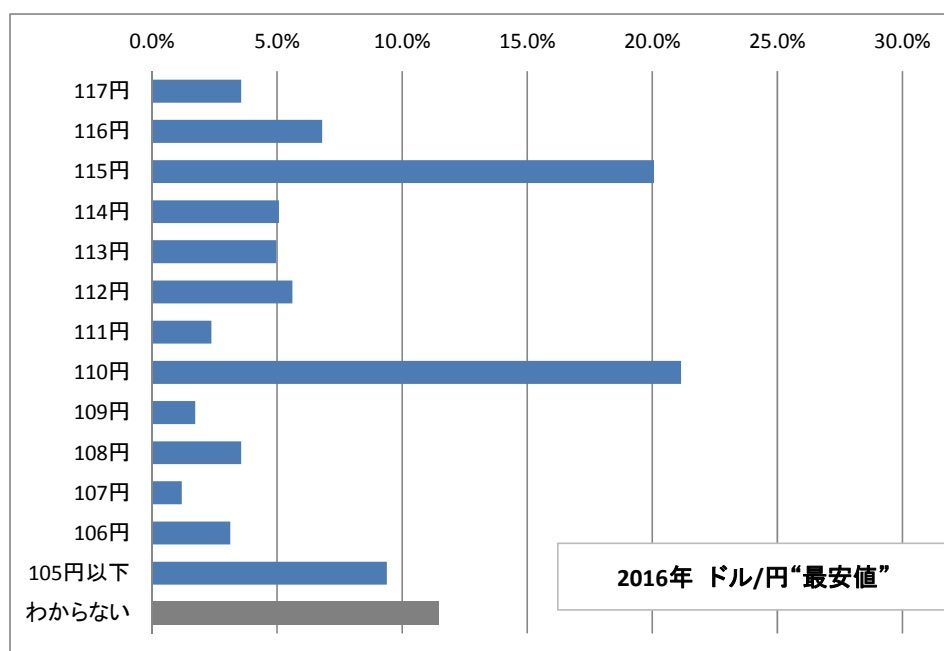


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: 2016年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

もうひとつの特別質問項目として「2016年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「110円(21.1%)」が最も多く、「115円(20.1%)」、「わからない(11.4%)」、「105円以下(9.4%)」と続いた。なお、1年前の調査では「115円(25.9%)」が最も多く、次いで「110円(17.1%)」となっており、今回は1,2位の順位が逆転した格好だ。この点からも、今年はFX投資家の見通しがやや下向きに傾いている事がわかる。理由として挙げられた自由記述形式の回答には「中国景気の悪化」が非常に多かった。そのほか、「米国の利上げ先送り」を挙げる向きもあった。年明け後の市場動向が回答結果に色濃く反映されたようだ。

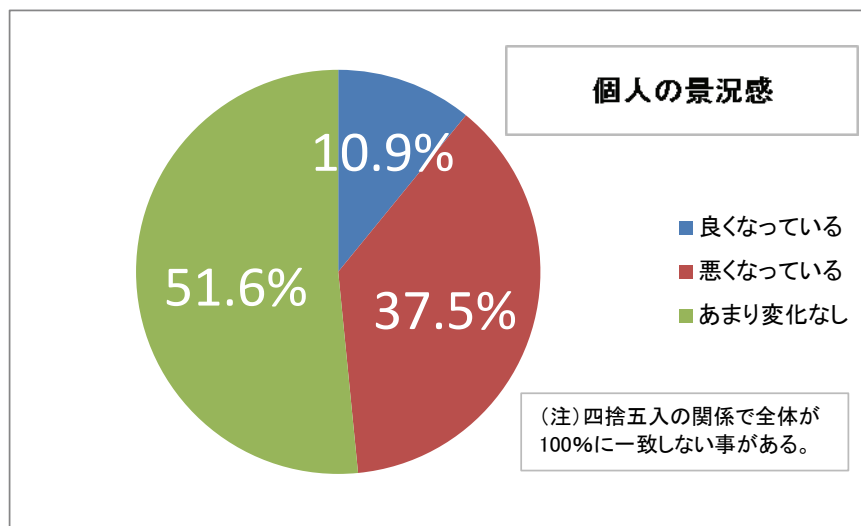


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問8:あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

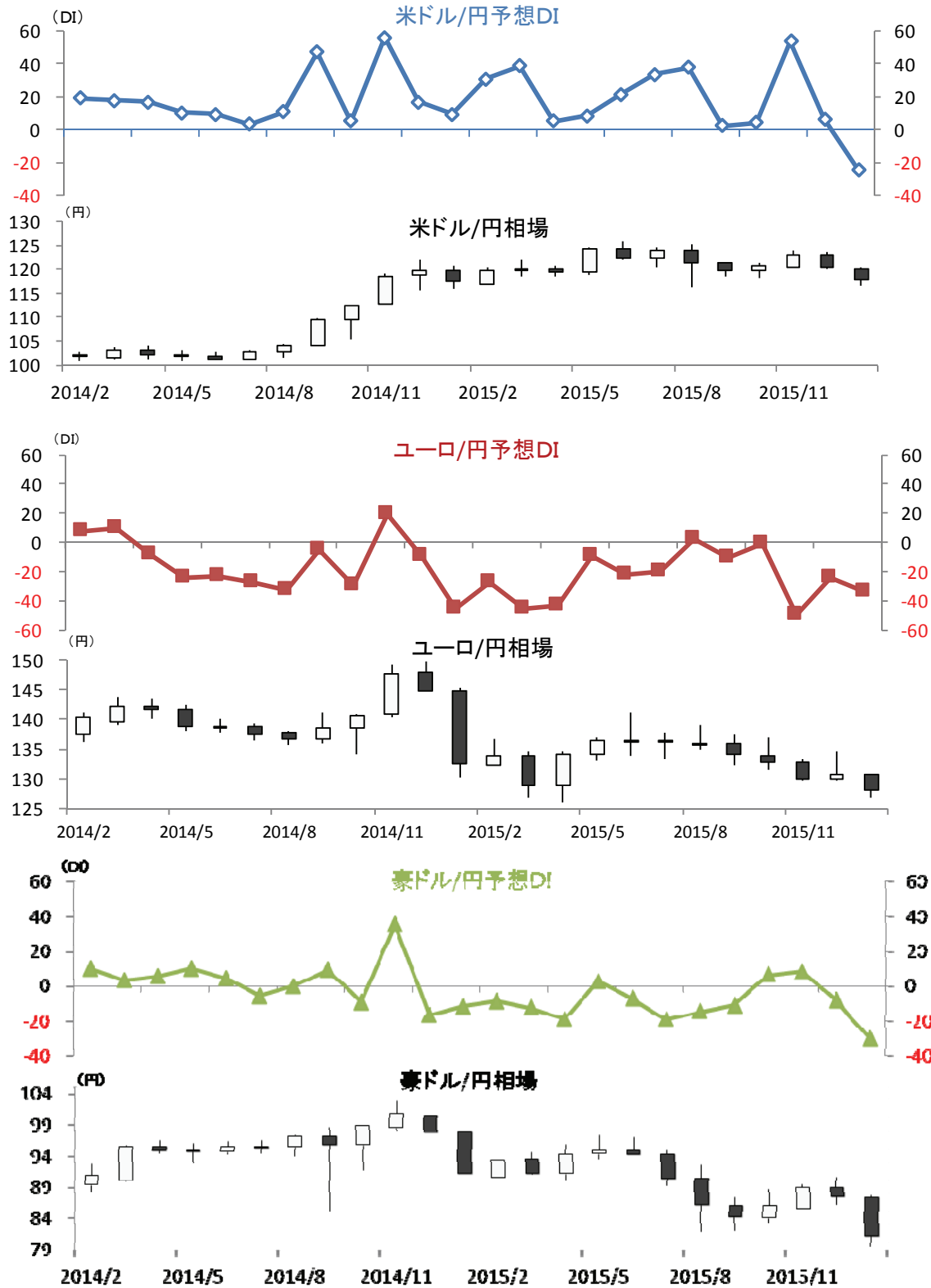
さらに、もうひとつの特別質問項目として「あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「良くなっている」が10.9%に留まったのに対し、「悪くなっている」が37.5%、「あまり変化なし」が51.6%という結果になった。同じ質問で調査を行った昨年10月の回答割合は「良くなっている」が12.9%、「悪くなっている」は25.8%、「あまり変化なし」が61.3%であった。FX投資家の景況感は3カ月前より悪化度合いが拡大しているようだ。今後の投資行動への悪影響を懸念せずにはいられない結果と言えよう。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表: 主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第80回目となりました。調査開始から6年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2014年	2月	41.7	22.5	19.2	35.3	28.2	7.1	36.5	26.3	10.2
	3月	41.9	24.0	17.9	38.7	29.5	9.2	34.8	31.5	3.3
	4月	41.4	24.6	16.8	25.7	34.5	-8.8	35.4	29.5	5.9
	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5
	10月	39.4	34.4	5.0	18.3	47.8	-29.5	27.1	36.1	-9.0
	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
	2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5
2月		46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
3月		52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
4月		31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
5月		29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1
6月		43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0
7月		49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9
8月		51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
9月		37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
10月		30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
11月		67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
12月		43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com